

事務事業評価表（令和3年度）

事業コード	938	課コード	1003	会計種別	一般会計	予算の種類	<input type="checkbox"/> 政策 <input checked="" type="checkbox"/> 経常 <input type="checkbox"/> なし
-------	-----	------	------	------	------	-------	--

1. 事業の概要 (PLAN)										
(1) 事業概要	①事業名	基本事業 消防体制の強化・充実	個別事業 消防水利の整備・維持管理	実施計画への位置づけ	●有 ○無		②部課名	消防本部・警防課		
	③事業主体	●市 ○その他 ()		④対象地区	<input type="checkbox"/> 我孫子 <input type="checkbox"/> 天王台 <input type="checkbox"/> 湖北 <input type="checkbox"/> 新木 <input type="checkbox"/> 布佐 <input checked="" type="checkbox"/> 全市					
	⑤事業期間	～		⑥担当職員数	4人 (換算人数) 0.2人					
	⑦事業費 (人件費含む)	総事業費	0千円		当該(開始)年度	(当初) 19,048千円 (うち人件費 1,780千円)				
	⑧施策の位置づけ	施策コード	70201	重点プロジェクトへの位置づけ	重点なし	基本計画地区別計画への位置づけ	○有 ●無		部門別計画への位置づけ (計画名)	
(2) 目的	施策目的・展開方向	火災や水害などの災害から市民の生命と財産を守るため、消防施設・装備を充実し、近隣自治体や関係団体と連携を図りながら消防体制の強化を図ります。			事業目的	消防活動に重要な施設である消防水利の効果的な整備及び維持管理を行うことにより、迅速で効果的な消防活動体制を整え、火災等から被害の軽減を図る。				
(3) 事業内容	内容	消防水利の基準に基づき、計画的に消防水利の整備を図るとともに、既設消防水利の維持管理を行う。そのため、経費負担協定に基づき水道事業者と協議を行い、計画的に消火栓の整備を実施、既設消火栓の改良、修繕を実施する。			当該年度執行計画	前年10月：予算編成に合わせ、水道局事業計画に基づき、整備箇所及び改良箇所等の協議を実施。 4月：防火水槽賠償責任保険への加入 12月：所有者に対する消防水利用地賃貸借料の支払い 3月：水道局への経費負担金の支払い 消火栓標示焼付けの実施 随時：不備消防水利の修繕、消防水利データの管理				
		当該年度活動結果指標	消防水利新設数	単位	件	想定値	8	実績値	6	
(4) 達成目標(期待する成果)	達成目標(期待する成果)				指標種類	指標	単位	(5) 現況値	(6) 目標値	
当該年度	消防水利の適正管理と計画的な整備を図る。市ホームページ上での消防水利情報の提供。				直接	消防水利の充足率	%	72	73	
令和4年度	消防水利の適正管理と計画的な整備を図る。				直接	消防水利の充足率	%		74	
令和5年度	消防水利の適正管理と計画的な整備を図る。				直接	消防水利の充足率	%		75	
(7) 事業実施上の課題と対応					代替案検討	○有 ●無				
(8) 施行事項	実施内容 費用	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		
		政策	内容	金額(千円)	政策	内容	金額(千円)	政策	内容	金額(千円)
		消火栓維持管理負担金	14,000	消火栓維持管理負担金	14,000	12,334	消火栓維持管理負担金	14,000	消火栓維持管理負担金	14,000
		消火栓表示焼付け	130	消火栓表示焼付け	148	145	消火栓表示焼付け	148	消火栓表示焼付け	148
		防火水槽修繕	200	防火水槽修繕	200	0	防火水槽修繕	200	防火水槽修繕	200
施設賠償責任保険(防火水槽)	19	施設賠償責任保険(防火水槽)	19	19	施設賠償責任保険(防火水槽)	19	施設賠償責任保険(防火水槽)	19		
消防施設土地賃借料	1,332	消防施設土地賃借料	1,313	1,309	消防施設土地賃借料	1,313	消防施設土地賃借料	1,313		
通信運搬費	10	通信運搬費	10	10	通信運搬費	10	通信運搬費	10		
防火水槽解体工事費	1,694	防火水槽解体工事費	1,578	385	防火水槽解体工事費	1,578	防火水槽解体工事費	1,578		
			防火水槽解体工事費(3月補正)	△1,077						
予算(決算)額	合計		17,385	合計		16,191	合計		17,268	
(9) 財源内訳	国庫支出金	補助率	0%	0	補助率	0%	0	補助率	0%	
	県支出金	補助率	0%	0	補助率	0%	0	補助率	0%	
	起債	充当率	0%	0	充当率	0%	0	充当率	0%	
	一般財源		17,385	16,191	14,202	17,268		17,268		
	その他の財源	<input type="checkbox"/> 特会 <input type="checkbox"/> 受益 <input type="checkbox"/> 基金 <input type="checkbox"/> その他	0	0	0	0	<input type="checkbox"/> 特会 <input type="checkbox"/> 受益 <input type="checkbox"/> 基金 <input type="checkbox"/> その他	0	0	
(10) 人件費等	換算人数(人)		0.25	0.2	0.2	0.2		0.2		
	正職員人件費		2,175	1,780	1,780	1,780		1,780		
	嘱託職員報酬額		0	0	0	0		0		
	臨時職員賃金額		0	0	0	0		0		
事業費(予算(決算)額+正職員人件費)			19,560	17,971	15,982	19,048		19,048		
(11) 単位費用 (事業費/活動結果指標)			2,445千円/件	2,246.38千円/件	2,663.67					

2. 事業の評価 (DO+CHECK)										
評価項目	事前評価				事後評価 (評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む))				改善検討	
(1) 事業が今必要である理由・背景は？(事業の必要性)	消火活動において最も重要な消防水利を確実に確保し、常に良好な状態に維持管理する必要があるため。				●①事前確認での想定どおり ○②事前確認での想定どおりでなかった <想定どおりとした理由/想定どおりでなかった原因> 災害時に必要な消防水利を確保している。				○要 ●不要	
	(2) 市が実施する必要性はあるか？(市実施の必要性)	●①民間企業、NPO、市民団体等では実施できない(理由) ■法令等で市が実施することが定められている <input type="checkbox"/> 提供主体が市しかない <input type="checkbox"/> その他		<その他の内容>		■①民間企業、NPO、市民団体等では実施できなかった ○②市が主導で進めなければ実効性がなかった ○③市が先導役となったことで市民へ普及が一層促進された ○④市の支援が政策・施策の目標の実現に貢献した ○⑤サービス水準が確保された ○⑥サービスの安定供給基盤が確保された ○⑦その他 <その他の内容>		<市実施の具体的な内容・必要性の理由> 消防水利の整備指針による水利の基準に準じている。		○要 ●不要
参加・協働の工夫		参加・協働の内容		工夫の具体的な内容		実施した参加・協働の具体的な内容(又は今後、参加・協働が考えられる場合にはその内容)		参加・協働の程度・内容		○要 ●不要
	○①事業計画時に市民の参画有り ○②事業実施時に市民の参画有り ○③管理・運営に市民の参画有り ○④市民の自主的な活動と連携している ○⑤市民と共同で事業を実施 ●⑥その他 <その他の内容> 該当なし				該当なし		○①当初期待した以上 ●②当初期待したとおり ○③当初の期待以下 <期待した以上となった理由/期待以下であった原因>		○要 ●不要	
環境への配慮	配慮の視点		取組む内容		実施した具体的な内容		環境への配慮		○要 ●不要	
	<input type="checkbox"/> ①自然環境を生かしている <input type="checkbox"/> ②生き物と共存している <input type="checkbox"/> ③手賀沼を意識している <input type="checkbox"/> ④環境負荷低減に貢献している ■⑤その他 <その他の内容> 該当なし				該当なし		●①想定どおり ○②想定どおりでなかった <想定どおりでなかった原因>		○要 ●不要	
(1) 目標設定は適切か？	現況値(a)(%)	目標値(b)(%)	目標値の妥当性のチェック		達成状況		●①目標値達成 ○②目標値未達成		○要 ●不要	
	72	73	■①客観的なデータ・事実に基づき設定している □②現況値と比べ実現性が乏しい値ではない □③現況値との差が小さい値ではない □④適当な比較対象がある場合、比較対象例における目標値(と現況値の差)と同等の水準である		実績値(f)(%)	達成率(%) (f/b×100)	<目標を達成した理由/未達成となった原因> 開発行為に伴う新設水利の設置指導を適切に実施した。	75		102.74
	対策実施による事業費削減		実施予定の対策		実施状況		●①想定事業費未済 ○②概ね想定事業費以内 ○③想定事業費超過			事業費の削減対策について ●①事前の想定どおり ○②事前の想定どおりでなかった <想定どおり削減できなかった原因>
(2) 事業費削減の工夫をしているか？	事業費(c)(千円)	事業費削減額(d)(千円)	事業費削減率(%)		実績値(g)(千円)	対事業費(%) (g/c)×100			○要 ●不要	
	17,971	1,589	8.12		15,982	88.93	<超過理由等> 消防水利に関する修繕数が少なかった。			
(3) 目標値を実現するために投じる事業費は適正か？(目標対費用)	目標値対事業費(e)		計算方法		達成状況		●①目標値以上 ○②目標値と同程度 ○③目標値以下		○要 ●不要	
	0.41		●①単年度の指標：目標値×費用単位/事業費 ○②複数年度の指標：(目標値-現況値)×費用単位/事業費	実績値(h)	対目標値(%) (h/e)×100	0.47	114.63	<目標値以上となった理由/目標値以下であった原因> 消防水利に関する修繕数が少なかった。		

3. 事後評価										
○現状どおり推進 ○拡充 ○縮小 ●結合 ○休止 ○廃止 ○事業手法見直し ○その他(事業完了など)										
評価	事務事業の見直しによる結合。令和4年度からは結合後の事務事業の中で一体的に推進していく。				改善策及び展開方向					
					令和4年度からは結合後の事務事業の中で一体的に推進していく。					

事務事業評価表（令和3年度）

Header table with columns: 事業コード (939), 課コード (1003), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

1. 事業の概要 (PLAN) - Overview of the project including purpose, content, and financial details.

2. 事業の評価 (DO+CHECK) - Evaluation section with multiple criteria and a detailed table for (11) 単位費用.

3. 事後評価 - Post-evaluation section including implementation status and improvement directions.

事務事業評価表（令和3年度）

Header table with columns: 事業コード (940), 課コード (1003), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

1. 事業の概要 (PLAN) - Overview of the project including purpose, content, and implementation details.

2. 事業の評価 (DO+CHECK) - Evaluation section with multiple criteria like necessity, participation, and efficiency.

3. 事後評価 - Post-evaluation section for future improvements and directions.

事務事業評価表（令和3年度）

Header table with columns: 事業コード (942), 課コード (1003), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

1. 事業の概要 (PLAN) - Overview of the project including purpose, content, and budget details.

2. 事業の評価 (DO+CHECK) - Evaluation section with multiple sub-tables for necessity, participation, environment, and efficiency.

3. 事後評価 - Post-evaluation section including implementation status and improvement directions.

事務事業評価表（令和3年度）

事業コード	943	課コード	1003	会計種別	一般会計	予算の種類	<input type="checkbox"/> 政策 <input checked="" type="checkbox"/> 経常 <input type="checkbox"/> なし
-------	-----	------	------	------	------	-------	--

1. 事業の概要 (PLAN)										
(1) 事業概要	①事業名	基本事業 消防体制の強化・充実	実施計画への位置づけ		●有 ○無		②部課名	消防本部・警防課		
	③事業主体	●市 ○その他 ()	④対象地区		○我孫子 ○天王台 ○湖北 ○新木 ○布佐 ■全市					
	⑤事業期間	～		⑥担当職員数	5人 (換算人数)		0.18人			
	⑦事業費 (人件費含む)	総事業費	0千円		当該(開始)年度	(当初)	1,782千円 (うち人件費 1,602千円)			
	⑧施策の位置づけ	施策コード	70201	重点プロジェクトへの位置づけ	重点なし		基本計画地区別計画への位置づけ	○有 ●無		
(2) 目的	施策目的・展開方向	火災や水害などの災害から市民の生命と財産を守るため、消防施設・装備を充実し、近隣自治体や関係団体と連携を図りながら消防体制の強化を図ります。			事業目的	地震・水災等の大規模災害発生に対応するため、千葉県を含む全国の消防本部との協力及び応援体制を確立する。				
(3) 事業内容	内容	緊急消防援助隊及び千葉県消防広域応援隊として応援・支援計画に伴う出動要請に対応するための資器材を整備し関東及び千葉県隊合同ブロック訓練に参加することで広域での活動のノウハウと資器材使用法を体得し出動要請に対応する。			当該年度執行計画	10月：市防災訓練（大規模災害対応訓練）参加・活動拠点設置訓練 11月：緊急消防援助隊出動要請対応図上訓練・非常召集、初動対応訓練 緊急消防援助隊関東ブロック合同訓練参加 1月：千葉県消防広域応援隊合同訓練参加 3月：緊急消防援助隊出動要請対応図上訓練・非常召集、初動対応訓練				
		当該年度活動結果指標	緊急消防援助隊出動及び訓練参加	単位	回	想定値	3		実績値	0
(4) 達成目標(期待する成果)	達成目標(期待する成果)			指標種類	指標		単位	(5) 現況値	(6) 目標値	
当該年度	緊急消防援助隊（応援・支援）対応整備を充実させ、安全管理の徹底が図られ効果的な活動が出来る。			直接	緊急消防援助隊応援マニュアル/現在の更新整備状況		%	100	100	
令和4年度	緊急消防援助隊（応援・支援）対応整備を充実させ、安全管理の徹底が図られ効果的な活動が出来る。			直接	緊急消防援助隊応援マニュアル/現在の更新整備状況		%		100	
令和5年度	緊急消防援助隊（応援・支援）対応整備を充実させ、安全管理の徹底が図られ効果的な活動が出来る。			直接	緊急消防援助隊応援マニュアル/現在の更新整備状況		%		100	
(7) 事業実施上の課題と対応	資機材や物資の輸送能力の向上を今後の課題として検討していきたい。			代替案検討	○有 ●無					
(8) 施行事項	実施内容 費用	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		
		政策	内容	金額(千円)	政策	内容	金額(千円)	政策	内容	金額(千円)
		訓練・出動時食糧費	53	訓練・出動時食糧費	77	訓練・出動時食糧費	77	訓練・出動時食糧費	77	
		有料道路使用料	9	有料道路使用料	49	有料道路使用料	50	有料道路使用料	50	
		旅費	28	旅費	40	旅費	44	旅費	44	
燃料費	10	燃料費	9	燃料費	9	燃料費	9			
訓練・出動時食糧費(3月補正)		△77								
予算(決算)額	合計		100	合計		98	合計		180	
(9) 財源内訳	国庫支出金	補助率	0%	補助率	0%	0	補助率	0%	0	
	県支出金	補助率	0%	補助率	0%	0	補助率	0%	0	
	起債	充当率	0%	充当率	0%	0	充当率	0%	0	
	一般財源		100		98		180		180	
	その他の財源	<input type="checkbox"/> 特会 <input type="checkbox"/> 受益 <input type="checkbox"/> 基金 <input type="checkbox"/> その他	0	<input type="checkbox"/> 特会 <input type="checkbox"/> 受益 <input type="checkbox"/> 基金 <input type="checkbox"/> その他	0	<input type="checkbox"/> 特会 <input type="checkbox"/> 受益 <input type="checkbox"/> 基金 <input type="checkbox"/> その他	0	<input type="checkbox"/> 特会 <input type="checkbox"/> 受益 <input type="checkbox"/> 基金 <input type="checkbox"/> その他	0	
(10) 人件費等	換算人数(人)	0.23		0.18		0.18		0.18		
	正職員人件費	2,001		1,602		1,602		1,602		
	嘱託職員報酬額	0		0		0		0		
	臨時職員賃金額	0		0		0		0		
事業費(予算(決算)額+正職員人件費)	2,101		1,700		1,602		1,782			
(11) 単位費用 (事業費/活動結果指標)	420.2千円/回		566.67千円/回		0					

2. 事業の評価 (DO+CHECK)									
評価項目	事前評価				事後評価 (評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む))				改善検討
(1) 事業が今必要である理由・背景は？(事業の必要性)	大規模災害に対する広域的な消防体制の構築が進められている中、我孫子市として他市への応援体制及び応援体制の構築が必要であるため。				○①事前確認での想定どおり ●②事前確認での想定どおりでなかった <想定どおりとした理由/想定どおりでなかった原因> 新型コロナウイルス感染症の影響により緊急消防援助隊合同訓練が中止となった。				○要 ●不要
	(2) 市が実施する必要性はあるか？(市実施の必要性)	●①民間企業、NPO、市民団体等では実施できない(理由) ■法令等で市が実施することが定められている <input type="checkbox"/> 提供主体が市しかない <input type="checkbox"/> その他		<その他の内容>		■①民間企業、NPO、市民団体等では実施できなかった ○②市が主導で進めなければ実効性がなかった ○③市が先導役となったことで市民へ普及が一層促進された ○④市の支援が政策・施策の目標の実現に貢献した ○⑤サービス水準が確保された ○⑥サービスの安定供給基盤が確保された ○⑦その他 <その他の内容>		<市実施の具体的な内容・必要性の理由> 千葉県消防広域応援隊及び緊急消防援助隊は、市・県及び国が主体となり確立する必要があるため、市が実施する必要がある。	
参加・協働の工夫	参加・協働の内容		工夫の具体的な内容		実施した参加・協働の具体的な内容 (又は今後、参加・協働が考えられる場合にはその内容)		参加・協働の程度・内容		○要 ●不要
	○①事業計画時に市民の参画有り ○②事業実施時に市民の参画有り ○③管理・運営に市民の参画有り ○④市民の自主的な活動と連携している ○⑤市民と共同で事業を実施 ●⑥その他 <その他の内容> 該当なし				該当なし		○①当初期待した以上 ●②当初期待したとおり ○③当初の期待以下 <期待した以上となった理由/期待以下であった原因>		
環境への配慮	配慮の視点		取組む内容		実施した具体的な内容		環境への配慮		○要 ●不要
	□①自然環境を生かしている □②生き物と共存している □③手賀沼を意識している □④環境負荷低減に貢献している ■⑤その他 <その他の内容> 該当なし				該当なし		●①想定どおり ○②想定どおりでなかった <想定どおりでなかった原因>		
(1) 目標設定は適切か？	現況値(a)(%)	目標値(b)(%)	目標値の妥当性のチェック		達成状況	達成率(%)	○①目標値達成 ●②目標値未達成		○要 ●不要
	100	100	■①客観的なデータ・事実に基づき設定している □②現況値と比べ実現性が乏しい値ではない □③現況値との差が小さい値ではない □④適当な比較対象がある場合、比較対象例における目標値(と現況値の差)と同等の水準である		実績値(f)(%)	(f/b)×100	<目標を達成した理由/未達成となった原因> 新型コロナウイルス感染症の影響により緊急消防援助隊合同訓練が中止となった		
					0	0			
(2) 事業費削減の工夫をしているか？	対策実施による事業費削減		実施予定の対策		実施状況		○①想定事業費未済 ●②概ね想定事業費以内 ○③想定事業費超過		○要 ●不要
	事業費(c)(千円)	事業費削減額(d)(千円)	□①国・県助成制度活用 □⑤PFI等民間資本の活用 ■②現有体制での対応 □⑥受益者負担 □③維持管理費の削減策の実施 □⑦その他 □④民間委託		実績値(g)(千円)	対事業費(%)	●①事前の想定どおり ○②事前の想定どおりでなかった <想定どおり削減できなかった原因>		
	1,700	401	<削減の内容>		1,602	94.24	<超過理由等>		
事業費削減率(%)		19.09							
(3) 目標値を実現するために投じる事業費は適正か？(目標対費用)	目標値対事業費(e)		計算方法		達成状況		○①目標値以上 ●②目標値と同程度 ○③目標値以下		○要 ●不要
	5.88		●①単年度の指標：目標値×費用単位/事業費 ○②複数年度の指標：(目標値-現況値)×費用単位/事業費		実績値(h)	対目標値(%)	<目標値以上となった理由/目標値以下であった原因> 新型コロナウイルス感染症の影響により緊急消防援助隊合同訓練が中止となった。		
					0	0			

3. 事後評価										
○現状どおり推進 ○拡充 ○縮小 ●結合 ○休止 ○廃止 ○事業手法見直し ○その他(事業完了など)										
評価	事務事業の見直しによる結合。令和4年度からは結合後の事務事業の中で一体的に推進していく。				改善策及び展開方向					
					令和4年度からは結合後の事務事業の中で一体的に推進していく。					

事務事業評価表（令和3年度）

事業コード	944	課コード	1003	会計種別	一般会計	予算の種類	<input type="checkbox"/> 政策 <input type="checkbox"/> 経常 <input checked="" type="checkbox"/> なし
-------	-----	------	------	------	------	-------	--

1. 事業の概要 (PLAN)											
(1) 事業概要	①事業名	基本事業 消防体制の強化・充実	実施計画への位置づけ		○有 ●無		②部課名	消防本部・警防課			
	③事業主体	個別事業 開発行為の指導・協議	④対象地区		○我孫子 ○天王台 ○湖北 ○新木 ○布佐 ■全市						
	⑤事業期間	●市 ○その他 ()	⑥担当職員数		4人 (換算人数) 0.18人						
	⑦事業費 (人件費含む)	総事業費 0千円	当該(開始)年度		当(初) 1,602千円 (うち人件費 1,602千円) 変(更)後 千円 (うち人件費 千円)						
	⑧施策の位置づけ	施策コード 70201	重点プロジェクトへの位置づけ	重点なし		基本計画地区別計画への位置づけ		○有 ●無 部門別計画への位置づけ (計画名)			
(2) 目的	施策目的・展開方向	火災や水害などの災害から市民の生命と財産を守るため、消防施設・装備を充実し、近隣自治体や関係団体と連携を図りながら消防体制の強化を図ります。				事業目的 開発行為に伴う消防施設の適正な設置を事業者と協議・指導することによって、消防体制の強化を図る。					
(3) 事業内容	内容	我孫子市開発行為に関する条例に基づいた指導基準により営利を目的とした事業主と開発行為又は、建築行為に関する消防施設の設置について協議し指導を行なう。 ・内容：事業者の申請により事前協議を実施する。 ：事業者の申請により協議書を締結する。 ：消防施設の中間検査・完成検査を実施する。				当該年度執行計画 ・事業者との事前協議 ・事業者との協議書締結 ・協議書に基づいて消防施設中間検査 ・協議書に基づいて消防施設完成検査					
(4) 達成目標(期待する成果)	達成目標(期待する成果)				指標種類	指標		単位	件	想定値	実績値
当該年度	開発行為に関する条例に基づき、指導基準に適合した消防施設の設置を事業者に指導し、安全で安心な住環境を維持する。				直接	適正に設置された消防施設の整備率		%		100	100
令和4年度	開発行為に関する条例に基づき、指導基準に適合した消防施設の設置を事業者に指導し、安全で安心な住環境を維持する。				直接	適正に設置された消防施設の整備率		%			100
令和5年度	開発行為に関する条例に基づき、指導基準に適合した消防施設の設置を事業者に指導し、安全で安心な住環境を維持する。				直接	適正に設置された消防施設の整備率		%			100
(7) 事業実施上の課題と対応	消防水利設置不能地区への開発及び建築行為申請に対して、指導方法について業者への不利益を最小限に抑えるための対策が必要であり、消防設備の追加設置等による対応について、予防課との検討を進める必要がある。				代替案検討	○有 ●無					
(8) 施行事項	実施内容 費用	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度			
		内容	金額(千円)	内容	予算額(千円)	決算額(千円)	内容	金額(千円)	内容	金額(千円)	
		開発行為・建築行為等に伴う消防水利等設置指導	0	開発行為・建築行為等に伴う消防水利等設置指導	0	0	開発行為・建築行為等に伴う消防水利等設置指導	0	開発行為・建築行為等に伴う消防水利等設置指導	0	
		予算(決算)額	合計	合計	合計	合計	合計	合計	合計	合計	
		0	0	0	0	0	0	0	0	0	
(9) 財源内訳	国庫支出金 補助率 0%		国庫支出金 補助率 0%		国庫支出金 補助率 0%		国庫支出金 補助率 0%		国庫支出金 補助率 0%		
県支出金 補助率 0%		県支出金 補助率 0%		県支出金 補助率 0%		県支出金 補助率 0%		県支出金 補助率 0%		県支出金 補助率 0%	
起債 充当率 0%		起債 充当率 0%		起債 充当率 0%		起債 充当率 0%		起債 充当率 0%		起債 充当率 0%	
一般財源		一般財源		一般財源		一般財源		一般財源		一般財源	
0		0		0		0		0		0	
その他の財源 □特会 □受益 □基金 □その他		□特会 □受益 □基金 □その他		□特会 □受益 □基金 □その他		□特会 □受益 □基金 □その他		□特会 □受益 □基金 □その他		□特会 □受益 □基金 □その他	
0		0		0		0		0		0	
(10) 人件費等	換算人数(人) 0.23		換算人数(人) 0.18		換算人数(人) 0.18		換算人数(人) 0.18		換算人数(人) 0.18		
正職員人件費 2,001		正職員人件費 1,602		正職員人件費 1,602		正職員人件費 1,602		正職員人件費 1,602		正職員人件費 1,602	
嘱託職員報酬額 0		嘱託職員報酬額 0		嘱託職員報酬額 0		嘱託職員報酬額 0		嘱託職員報酬額 0		嘱託職員報酬額 0	
臨時職員賃金額 0		臨時職員賃金額 0		臨時職員賃金額 0		臨時職員賃金額 0		臨時職員賃金額 0		臨時職員賃金額 0	
事業費(予算(決算)額+正職員人件費) 2,001		事業費(予算(決算)額+正職員人件費) 1,602		事業費(予算(決算)額+正職員人件費) 1,602		事業費(予算(決算)額+正職員人件費) 1,602		事業費(予算(決算)額+正職員人件費) 1,602		事業費(予算(決算)額+正職員人件費) 1,602	
(11) 単位費用 (事業費/活動結果指標)	50.03千円/件		40.05千円/件		36.41						

2. 事業の評価 (DO+CHECK)										
評価項目		事前評価				事後評価(評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む))				改善検討
(1) 事業が今必要である理由・背景は？(事業の必要性)	我孫子市開発行為に関する条例に基づく、消防の基準により災害が発生した場合の消防隊の防衛体制を確立させるために必要である。				●①事前確認での想定どおり ○②事前確認での想定どおりでなかった <想定どおりとした理由/想定どおりでなかった原因> 開発行為や建築行為に対し、消防活動に支障のない消防施設等の設置に係る協議指導が必要であり、想定どおりであった。				○要 ●不要	
	(2) 市が実施する必要性はあるか？(市実施の必要性)	●①民間企業、NPO、市民団体等では実施できない(理由) ■法令等で市が実施することが定められている □提供主体が市しかない □その他		<その他の内容>		■①民間企業、NPO、市民団体等では実施できなかった ○②市が主導で進めなければ実効性がなかった ○③市が先導役となったことで市民へ普及が一層促進された ○④市の支援が政策・施策の目標の実現に貢献した ○⑤サービス水準が確保された ○⑥サービスの安定供給基盤が確保された ○⑦その他 <その他の内容>		<市実施の具体的な内容・必要性の理由> 条例に基づき消防活動上の施設及び水利等を確保するため、市が主体で指導を実施した。		○要 ●不要
参加・協働の工夫	参加・協働の内容		工夫の具体的な内容		実施した参加・協働の具体的な内容(又は今後、参加・協働が考えられる場合にはその内容)		参加・協働の程度・内容		○要 ●不要	
	市民の参加や市民との協働を工夫しているか？(体制づくり)		○①事業計画時に市民の参画有り ○②事業実施時に市民の参画有り ○③管理・運営に市民の参画有り ○④市民の自主的な活動と連携している ○⑤市民と共同で事業を実施 ●⑥その他 <その他の内容> 該当なし		該当なし		○①当初期待した以上 ●②当初期待したとおり ○③当初の期待以下 <期待した以上となった理由/期待以下であった原因>		○要 ●不要	
環境への配慮	配慮の視点		取組む内容		実施した具体的な内容		環境への配慮		○要 ●不要	
	□①自然環境を生かしている □②生き物と共存している □③手賀沼を意識している □④環境負荷低減に貢献している ■⑤その他 <その他の内容> 該当なし		該当なし		該当なし		●①想定どおり ○②想定どおりでなかった <想定どおりでなかった原因>		○要 ●不要	
(1) 目標設定は適切か？	現況値(a)(%)	目標値(b)(%)	目標値の妥当性のチェック		達成状況		●①目標値達成 ○②目標値未達成		○要 ●不要	
	100	100	■①客観的なデータ・事実に基づき設定している □②現況値と比べ実現性が乏しい値ではない □③現況値との差が小さい値ではない □④適当な比較対象がある場合、比較対象例における目標値(と現況値の差)と同等の水準である		実績値(f)(%)	達成率(%) (f/b×100)	<目標を達成した理由/未達成となった原因> 申請件数が当初見込みより多かった。			
	110	110			110	110				
(2) 事業費削減の工夫をしているか？	対策実施による事業費削減		実施予定の対策		実施状況		○①想定事業費未済 ●②概ね想定事業費以内 ○③想定事業費超過		○要 ●不要	
	事業費(c)(千円)	事業費削減額(d)(千円)	□①国・県助成制度活用 □⑤PFI等民間資本の活用 ■②現有体制での対応 □⑥受益者負担 □③維持管理費の削減策の実施 □⑦その他 □④民間委託		実績値(g)(千円)	対事業費(%) (g/c)×100	事業費の削減対策について ●①事前の想定どおり ○②事前の想定どおりでなかった <想定どおり削減できなかった原因>			
	1,602	399	<削減の内容>		1,602	100	<超過理由等>			
事業費削減率(%)		19.94								
(3) 目標値を実現するために投じる事業費は適正か？(目標対費用)	目標値対事業費(e)		計算方法		達成状況		●①目標値以上 ○②目標値と同程度 ○③目標値以下		○要 ●不要	
	6.24	単位 費用単位 %	●①単年度の指標：目標値×費用単位/事業費 ○②複数年度の指標：(目標値-現況値)×費用単位/事業費		実績値(h)	対目標値(%) (h/e)×100	<目標値以上となった理由/目標値以下であった原因> 申請件数が当初見込みより多かった			
		10万円				6.87	110.1			

3. 事後評価										
○現状どおり推進 ○拡充 ○縮小 ●結合 ○休止 ○廃止 ○事業手法見直し ○その他(事業完了など)										
評価	事務事業の見直しによる結合。令和4年度からは結合後の事務事業の中で一体的に推進していく。					改善策及び展開方向				
						令和4年度からは結合後の事務事業の中で一体的に推進していく。				

事務事業評価表（令和3年度）

Header table with columns: 事業コード (945), 課コード (1003), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

Main table for Section 1: 事業の概要 (PLAN). Includes sub-sections for (1) 事業概要, (2) 目的, (3) 事業内容, (4) 達成目標, (7) 事業実施上の課題と対応, and (8) 施行事項 with detailed financial breakdowns for fiscal years 2020-2023.

2. 事業の評価 (DO+CHECK)

Evaluation table with columns: 評価項目, 事前評価, 事後評価 (評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む)), 改善検討. Contains criteria for necessity, participation, environment, and efficiency.

3. 事後評価

Post-evaluation table with columns: 現状どおり推進, 拡充, 縮小, 結合, 休止, 廃止, 事業手法見直し, その他(事業完了など). Includes a section for 評価コメント and 改善策及び展開方向.

事務事業評価表（令和3年度）

Header table with columns: 事業コード (949), 課コード (1003), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

1. 事業の概要 (PLAN) - Overview of the project including purpose, content, and financial details.

2. 事業の評価 (DO+CHECK) - Evaluation section with sub-sections for necessity, participation, environment, and efficiency.

3. 事後評価 - Post-evaluation section including status and comments.

事務事業評価表（令和3年度）

Header table with columns: 事業コード (951), 課コード (1003), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

Main table for '1. 事業の概要 (PLAN)'. Includes sections for (1) 事業概要, (2) 目的, (3) 事業内容, (4) 達成目標, (7) 事業実施上の課題と対応, (8) 施行事項, (9) 財源内訳, (10) 人件費等, (11) 単位費用.

2. 事業の評価 (DO+CHECK)

Evaluation table with columns: 評価項目, 事前評価, 事後評価 (評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む)), 改善検討. Includes sub-sections for (1) 必要性, (2) 参加・協働の工夫, (3) 環境への配慮, (4) 目標設定, (5) 効率性.

3. 事後評価

Summary table for '3. 事後評価' with columns: 現状どおり推進, 評価コメント, 改善策及び展開方向.

事務事業評価表（令和3年度）

Header table with columns: 事業コード (952), 課コード (1003), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

Main table for '1. 事業の概要 (PLAN)'. Includes sections for (1) 事業概要, (2) 目的, (3) 事業内容, (4) 達成目標, (7) 事業実施上の課題と対応, (8) 施行事項, (9) 財源内訳, (10) 人件費等, (11) 単位費用.

2. 事業の評価 (DO+CHECK)

Evaluation table with columns: 評価項目, 事前評価, 事後評価 (評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む)), 改善検討. Includes sub-sections for (1) 必要性, (2) 参加・協働の工夫, (3) 環境への配慮, (4) 目標設定は適切か?, (5) 効率性.

3. 事後評価

Summary table for '3. 事後評価' with columns: 評価コメント, 改善策及び展開方向.

事務事業評価表（令和3年度）

Header table with columns: 事業コード (953), 課コード (1003), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

Main table for '1. 事業の概要 (PLAN)'. Includes sections for (1) 事業概要, (2) 目的, (3) 事業内容, (4) 達成目標, (7) 事業実施上の課題と対応, and (8) 施行事項 (費用).

2. 事業の評価 (DO+CHECK)

Evaluation table with columns: 評価項目, 事前評価, 事後評価 (評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む)), 改善検討. Includes sub-sections for (1) 必要性, (2) 参加・協働の工夫, (3) 環境への配慮, (4) 目標設定, (5) 効率性.

3. 事後評価

Summary table for '3. 事後評価' with columns: 評価コメント, 改善案及び展開方向. Includes checkboxes for status (e.g., 現状どおり推進, 拡充, etc.)

事務事業評価表（令和3年度）

Header table with columns: 事業コード (954), 課コード (1003), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

1. 事業の概要 (PLAN) - Overview of the project including purpose, content, and implementation details.

2. 事業の評価 (DO+CHECK) - Evaluation section header.

Main evaluation table with columns: 評価項目, 事前評価, 事後評価 (評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む)), 改善検討

3. 事後評価 - Post-evaluation section header.

Summary table for post-evaluation with columns: 現状, 改善策及び展開方向

事務事業評価表（令和3年度）

Header table with columns: 事業コード (955), 課コード (1003), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

1. 事業の概要 (PLAN) - Overview of the project including purpose, content, and financial details.

2. 事業の評価 (DO+CHECK) - Evaluation section header.

Main evaluation table with columns for evaluation items, pre/post evaluation, and improvement checks.

3. 事後評価 - Post-evaluation section header.

Post-evaluation table with columns for status (e.g., 現状どおり推進) and improvement directions.

事務事業評価表（令和3年度）

Header table with columns: 事業コード (957), 課コード (1003), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

Main table for '1. 事業の概要 (PLAN)'. Includes sections for (1) 事業概要, (2) 目的, (3) 事業内容, (4) 達成目標, (7) 事業実施上の課題と対応, and (8) 施行事項 with detailed budget breakdown.

2. 事業の評価 (DO+CHECK)

Evaluation table with columns: 評価項目, 事前評価, 事後評価 (評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む)), 改善検討. Includes criteria for necessity, participation, environment, and efficiency.

3. 事後評価

Summary table for post-evaluation with columns: 現状どおり推進, 拡充, 縮小, 結合, 休止, 廃止, 事業手法見直し, その他(事業完了など), 評価コメント, 改善策及び展開方向.

事務事業評価表（令和3年度）

事業コード	958	課コード	1003	会計種別	一般会計	予算の種類	<input type="checkbox"/> 政策 <input checked="" type="checkbox"/> 経常 <input type="checkbox"/> なし
-------	-----	------	------	------	------	-------	--

1. 事業の概要 (PLAN)													
(1) 事業概要	①事業名	基本事業 消防団体制の強化・充実	個別事業 消防団員の訓練	実施計画への位置づけ	●有 ○無		②部課名	消防本部・警防課					
	③事業主体	●市 ○その他 ()		④対象地区	□我孫子 □天王台 □湖北 □新木 □布佐 ■全市								
	⑤事業期間	～		⑥担当職員数	7人 (換算人数) 0.36人								
	⑦事業費 (人件費含む)	総事業費	0千円		当該(開始)年度	当初	4,321千円 (うち人件費 3,204千円)						
					(変更後)		4,127千円 (うち人件費 3,204千円)						
⑧施策の位置づけ	施策コード	70203	重点プロジェクトへの位置づけ	重点なし	基本計画地区別計画への位置づけ	○有 ●無		部門別計画への位置づけ (計画名)					
(2) 目的	施策目的・展開方向	消防団員の確保に取り組むとともに、市民の防火・防災意識を一層高めるため、消防団や女性防火クラブなどの関係機関と連携しながら、各種防火・防災訓練や住宅用火災警報器の設置促進などに努め、地域防災力の強化を図ります。			事業目的	消防団員が火災等の災害に対し即座に対応することのできる知識と技術を身につけ、災害活動における安全管理及び有効な防御に結びつけることを目的とする。							
(3) 事業内容	内容	組織の統制を図るための規律訓練、火災等に対する防御訓練、災害全般にわたる安全管理、機械器具の取扱いに対する知識及び技術の習得を行なうための消防団員の訓練を事業内容とする。			当該年度執行計画	上半期 5月：規律訓練・5月～7月：操法訓練・5月：市操法大会の開催 6月：支部操法大会参加（県操法大会への参加） 下半期 10月：市総合防災訓練への参加・放水訓練の実施 11月：器具庫巡回における機械器具取扱い確認・普通救命講習の受講・講習会又は放水訓練 1月：出初式での訓練披露・3月：機関員講習 随時：管内巡回における地理、水利の把握							
(4) 達成目標 (期待する成果)	達成目標 (期待する成果)				指標種類	指標		単位	人	想定値	2,000		
当該年度	消防団員の知識及び技術の向上				間接	訓練参加率 (参加団員数/想定参加団員数)		%		実績値	569		
令和4年度	消防団員の知識及び技術の向上				間接	訓練参加率 (参加団員数/想定参加団員数)		%			90		
令和5年度	消防団員の知識及び技術の向上				間接	訓練参加率 (参加団員数/想定参加団員数)		%			97		
(7) 事業実施上の課題と対応	分団により異なるが、消防団員の入団者数は減少傾向、退団者数は増加傾向にあるため、知識及び技術の伝承が難しいことから、継続的な訓練を実施していく必要がある。				代替案検討	○有 ●無							
(8) 施行事項	実施内容 費用	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度					
		政策	内容	金額(千円)	政策	内容	金額(千円)	政策	内容	金額(千円)	政策	内容	
			訓練消耗品	165		訓練消耗品	202		訓練消耗品	202		訓練消耗品	205
			市操法大会会場設営費	194		市操法大会会場設営費	194		市操法大会会場設営費	194		市操法大会会場設営費	194
			備品購入	150		備品購入	229		備品購入	255		備品購入	255
	LED投光器の整備 (助成金対象)	1,995		消防団用のぼり旗の整備 (補助金対象)	466								
	コミュニティ助成金 (消防団育成)	1,995千円 (事業費) - 995千円 (一般財)		地域防災力向上総合支援補助金 (市民安全課で申請)	466千円 (事業費) - 234千円 (一般財源)								
	* コロナ対策消耗品 (9月補正)	1,652		市操法大会会場設営費 (3月補正)	△194								
	予算(決算)額	合計	4,156	合計	923	合計	651	合計	654				
(9) 財源内訳	国庫支出金	補助率 0%	0	補助率 0%	0	補助率 0%	0	補助率 0%	0				
	県支出金	補助率 0%	0	補助率 0%	0	補助率 0%	0	補助率 0%	0				
	起債	充当率 0%	0	充当率 0%	0	充当率 0%	0	充当率 0%	0				
	一般財源		3,156		923		891		651				
	その他の財源	□特会 □受益 □基金 ■その他	1,000	□特会 □受益 □基金 □その他	0	□特会 □受益 □基金 □その他	0	□特会 □受益 □基金 □その他	0				
(10) 人件費等	換算人数(人)		0.41		0.36		0.36		0.36				
	正職員人件費		3,567		3,204		3,204		3,204				
	嘱託職員報酬額		0		0		0		0				
	臨時職員賃金額		0		0		0		0				
	事業費(予算(決算)額+正職員人件費)		7,723		4,127		4,095		3,855				
	(11) 単位費用 (事業費/活動結果指標)		3.7千円/人		2.06千円/人		7.2						

2. 事業の評価 (DO+CHECK)									
(1) 事業が今必要である理由・背景は？ (事業の必要性)	事前評価				事後評価 (評価結果に応じ、改善案検討 (拡充も含む))				改善検討
	各種災害に対応するため、市の防災の一翼を担う消防団員の災害に対する知識と技術の向上を図る必要があるため。				●①事前確認での想定どおり ○②事前確認での想定どおりでなかった <想定どおりとした理由/想定どおりでなかった原因> 消防団訓練や自治会の防災訓練等へ参加することにより、災害活動に必要な知識・技術の向上が図られたため。				○要 ●不要
(2) 市が実施する必要性はあるか？ (市実施の必要性)	●①民間企業、NPO、市民団体等では実施できない (理由) ■法令等で市が実施することが定められている □提供主体が市しかない □その他		<その他の内容>		■①民間企業、NPO、市民団体等では実施できなかった □②市が主導で進めなければ実効性がなかった □③市が先導役となったことで市民へ普及が一層促進された □④市の支援が政策・施策の目標の実現に貢献した □⑤サービス水準が確保された □⑥サービスの安定供給が確保された □⑦その他		<市実施の具体的な内容・必要性の理由> 消防団は市の条例に基づく組織のため、災害への備えは市が実施することが不可欠である。		○要 ●不要
	○②自治体である市が推進すべきである (理由) □市が主導で進めることにより実効性が得られる □市が実施・提供することにより、良質で安定したサービスが保証される □市が支援することにより政策・施策の目標の実現が図られる □その他		<その他の内容>		<その他の内容>		<その他の内容>		○要 ●不要
市民の参加や市民との協働を工夫しているか？ (体制づくり)	参加・協働の内容		工夫の具体的な内容		実施した参加・協働の具体的な内容 (又は今後、参加・協働が考えられる場合にはその内容)		参加・協働の程度・内容		改善検討
	○①事業計画時に市民の参画有り ○②事業実施時に市民の参画有り ○③管理・運営に市民の参画有り ○④市民の自主的な活動と連携している ○⑤市民と共同で事業を実施 ●⑥その他 <その他の内容> 該当なし				該当なし		○①当初期待した以上 ●②当初期待したとおり ○③当初の期待以下 <期待した以上となった理由/期待以下であった原因>		○要 ●不要
環境に配慮して事業を進めているか？	配慮の視点		取組む内容		実施した具体的な内容		環境への配慮		改善検討
	□①自然環境を生かしている □②生き物と共存している □③手賀沼を意識している □④環境負荷低減に貢献している ■⑤その他 <その他の内容> 該当なし				該当なし		●①想定どおり ○②想定どおりでなかった <想定どおりでなかった原因>		○要 ●不要
(1) 目標設定は適切か？	現況値 (a) (%)	目標値 (b) (%)	目標値の妥当性のチェック		達成状況		達成率 (%)		改善検討
	90	95	■①客観的なデータ・事実に基づき設定している □②現況値と比べ実現性が乏しい値ではない □③現況値との差が小さい値ではない □④適当な比較対象がある場合、比較対象例における目標値 (と現況値の差) と同等の水準である		28.45		29.95		○要 ●不要
					実績値 (f) (%)		達成率 (%) (f/b × 100)		○要 ●不要
(2) 事業費削減の工夫をしているか？	対策実施による事業費削減		実施予定の対策		実施状況		事業費の削減対策について		改善検討
	事業費 (c) (千円)	事業費削減額 (d) (千円)	□①国・県助成制度活用 □⑤PFI等民間資本の活用 ■②現有体制での対応 □⑥受益者負担 □③維持管理費の削減策の実施 □⑦その他 □④民間委託		4,095		○①想定事業費未済 ●②概ね想定事業費以内 ○③想定事業費超過 <想定どおり削減できなかった原因>		○要 ●不要
	事業費削減率 (%)		<削減の内容>		4,095		99.22		○要 ●不要
(3) 目標値を実現するために投じる事業費は適正か？ (目標対費用)	目標値対事業費 (e)		計算方法		達成状況		達成率 (%)		改善検討
	2.3		●①単年度の指標：目標値 × 費用単位 / 事業費 ○②複数年度の指標：(目標値 - 現況値) × 費用単位 / 事業費		0.69		30		○要 ●不要
					実績値 (h)		対目標値 (%) (h/e) × 100		○要 ●不要

3. 事後評価										
○現状どおり推進 ○拡充 ○縮小 ●結合 ○休止 ○廃止 ○事業手法見直し ○その他(事業完了など)										
評価	事務事業の見直しによる結合。令和4年度からは結合後の事務事業の中で一体的に推進していく。					改善策及び展開方向				
						令和4年度からは結合後の事務事業の中で一体的に推進していく。				

事務事業評価表（令和3年度）

事業コード	960	課コード	1003	会計種別	一般会計	予算の種類	□政策 ■経常 □なし
-------	-----	------	------	------	------	-------	-------------

1. 事業の概要 (PLAN)												
(1) 事業概要	①事業名	基本事業	消防団体制の強化・充実		実施計画への位置づけ	●有 ○無		②部課名	消防本部・警防課			
		個別事業	消防団車両等の維持管理事務									
	③事業主体	●市 ○その他 ()										
	④対象地区	□我孫子 □天王台 □湖北 □新木 □布佐 ■全市										
	⑤事業期間	～										
⑦事業費 (人件費含む)	総事業費	0千円			当該(開始)年度	(当初)	4,581千円 (うち人件費 1,335千円)					
					(変更後)	千円 (うち人件費 千円)						
⑧施策の位置づけ	施策コード	70203		重点プロジェクトへの位置づけ	重点なし		基本計画地区別計画への位置づけ	○有 ●無				
(2) 目的	施策目的・展開方向	消防団員の確保に取り組むとともに、市民の防火・防災意識を一層高めるため、消防団や女性防火クラブなどの関係機関と連携しながら、各種防火・防災訓練や住宅用火災警報器の設置促進などに努め、地域防災力の強化を図ります。					事業目的	火災等の災害に対応するため、消防団車両の維持管理を行う。				
(3) 事業内容	内容	緊急出動に備え車両を常に万全の状態とするため、法令に基づき6ヶ月、12ヶ月、24ヶ月点検を実施する。 また、老朽化した車両は故障頻度の上昇、修繕交換部品の生産終了により修理不能になるリスクもあり、災害対応に後手をとる可能性が高まるため消防団車両更新計画に基づいた車両更新を行い災害対応に万全を期する。					当該年度執行計画	総車両台数：21台 車検対象：8台（ポンプ車1台・積載車7台） 6ヶ月点検対象：21台（ポンプ車4台・積載車17台） 12ヶ月点検対象：13台（ポンプ車3台・積載車10台） 修繕：随時				
		当該年度活動結果指標	車検件数	単位	件	想定値	13	実績値	13			
(4) 達成目標(期待する成果)	達成目標(期待する成果)					指標種類	指標		単位	(5) 現況値	(6) 目標値	
当該年度	消防団活動に万全を期するため、21ヶ分団の車両を整備する。					直接	車両整備率(21台) (実施件数/必要件数)		%	100	100	
令和4年度	消防団活動に万全を期するため、21ヶ分団の車両を整備する。					直接	車両整備率(21台) (実施件数/必要件数)		%		100	
令和5年度	消防団活動に万全を期するため、21ヶ分団の車両を整備する。					直接	車両整備率(21台) (実施件数/必要件数)		%		100	
(7) 事業実施上の課題と対応	定期点検回数の増加により、出動不能期間が多くなるため、全車両を計画的に法定点検を行うことで、出動不能というリスクの分散を図っていく。					代替案検討	○有 ●無					
(8) 施行事項	実施内容費用	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度				
		内容	金額(千円)	内容	予算額(千円)	決算額(千円)	内容	金額(千円)	内容	金額(千円)		
		(全21台のうち車検台数：8台)	1,443	(全21台のうち車検台数：13台)	1,765	1,024	(全21台のうち車検台数：8台)	1,443	(全21台のうち車検台数：13台)	1,765		
		需用費 983 役務費 214 公課費		需用費 1,054 役務費 427 公課費		需用費 922 役務費 427 公課費		需用費 983 役務費 214 公課費		需用費 1,054 役務費 427 公課費		
		補助金 11,367,000円(基準額)×1/6 =1,894,000円 起債 (22,000,000円(車両購入費) - 1,894,000円(補助金))×1.0 =20,100,000円 (車種については今後検討)										
予算(決算)額	合計		2,640	合計		3,246	合計		24,673	合計		3,246
(9) 財源内訳	国庫支出金	補助率	0%	0	補助率	0%	0	補助率	0%	0	0	
	県支出金	補助率	0%	0	補助率	0%	0	補助率	16.7%	1,894	0%	0
	起債	充当率	0%	0	充当率	0%	0	充当率	100%	20,100	0%	0
	一般財源		2,640		3,246	2,373		2,679		3,246		
その他の財源	□特会 □受益 □基金 □その他	0		□特会 □受益 □基金 □その他	0		□特会 □受益 □基金 □その他	0		□特会 □受益 □基金 □その他	0	
(10) 人件費等	換算人数(人)	0.2		0.15		0.15		0.15		0.15		
	正職員人件費	1,740		1,335		1,335		1,335		1,335		
	嘱託職員報酬額	0		0		0		0		0		
	臨時職員賃金額	0		0		0		0		0		
事業費(予算(決算)額+正職員人件費)	4,380		4,581		3,708		26,008		4,581			
(11) 単位費用 (事業費/活動結果指標)	438千円/件		352.38千円/件		285.23							

2. 事業の評価 (DO+CHECK)																
評価項目	事前評価					事後評価(評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む))					改善検討					
(1) 事業が今必要である理由・背景は？(事業の必要性)	緊急車両である消防団車両については、非常時対応が求められるため、常に整備に努めなければならない必要がある。					●①事前確認での想定どおり ○②事前確認での想定どおりでなかった					○要 ●不要					
	<想定どおりとした理由/想定どおりでなかった原因> 車両の維持管理を法令の定めにより実施した。															
(2) 市が実施する必要性はあるか？(市実施の必要性)	●①民間企業、NPO、市民団体等では実施できない(理由) ■法令等で市が実施することが定められている □提供主体が市しかない □その他					■①民間企業、NPO、市民団体等では実施できなかった □②市が主導で進めなければ実効性がなかった □③市が先導役となったことで市民へ普及が一層促進された □④市の支援が政策・施策の目標の実現に貢献した □⑤サービス水準が確保された □⑥サービスの安定供給基盤が確保された □⑦その他					<市実施の具体的な内容・必要性の理由> 条例により組織される消防団の災害活動に使用する緊急車両のため、事業を市が実施する必要がある					○要 ●不要
	○②自治体である市が推進すべきである(理由) □市が主導で進めることにより実効性が得られる □市が実施・提供することにより、良質で安定したサービスが保証される □市が支援することにより政策・施策の目標の実現が図られる □その他					<その他の内容>										
参加・協働の工夫	参加・協働の内容					実施した参加・協働の具体的な内容(又は今後、参加・協働が考えられる場合にはその内容)					○要 ●不要					
	市民の参加や市民との協働を工夫しているか？(体制づくり) ○①事業計画時に市民の参画有り ○②事業実施時に市民の参画有り ○③管理・運営に市民の参画有り ○④市民の自主的な活動と連携している ○⑤市民と共同で事業を実施 ●⑥その他					該当なし										
環境への配慮	配慮の視点					実施した具体的な内容					○要 ●不要					
	取組む内容					環境への配慮										
(1) 目標設定は適切か？	現況値(a)(%)	目標値(b)(%)	目標値の妥当性のチェック			達成状況	●①目標値達成 ○②目標値未達成		<目標を達成した理由/未達成となった原因> 整備・点検について、計画どおり実施した。							
	100	100	■①客観的なデータ・事実に基づき設定している □②現況値と比べ実現性が乏しい値ではない □③現況値との差が小さい値ではない □④適当な比較対象がある場合、比較対象例における目標値(と現況値の差)と同等の水準である			実績値(f)(%)	達成率(%) (f/b×100)									
(2) 事業費削減の工夫をしているか？	対策実施による事業費削減		実施予定の対策			実施状況		●①想定事業費未済 ○②概ね想定事業費以内 ○③想定事業費超過								
	事業費(c)(千円)	事業費削減額(d)(千円)	□①国・県助成制度活用 ■②現有体制での対応 □③維持管理費の削減策の実施 □④民間委託	□⑤PFI等民間資本の活用 □⑥受益者負担 □⑦その他	実績値(g)(千円)	対事業費(%) (g/c)×100	<想定どおり削減できなかった原因>									
(3) 目標値を実現するために投じる事業費は適正か？(目標対費用)	目標値対事業費(e)		計算方法			達成状況		●①目標値以上 ○②目標値と同程度 ○③目標値以下								
	2.18	単位	費用単位	●①単年度の指標：目標値×費用単位/事業費 ○②複数年度の指標：(目標値-現況値)×費用単位/事業費			実績値(h)	対目標値(%) (h/e)×100	<目標値以上となった理由/目標値以下であった原因> 新型コロナウイルス感染症の感染防止のため車両による訓練等の参加を控えたため。燃料費等が抑えられたため。							

3. 事後評価										
○現状どおり推進 ○拡充 ○縮小 ●結合 ○休止 ○廃止 ○事業手法見直し ○その他(事業完了など)										
評価	事務事業の見直しによる結合。令和4年度からは結合後の事務事業の中で一体的に推進していく。					改善策及び展開方向				
						令和4年度からは結合後の事務事業の中で一体的に推進していく。				

事務事業評価表（令和3年度）

事業コード	1533	課コード	1003	会計種別	一般会計	予算の種類	<input type="checkbox"/> 政策 <input checked="" type="checkbox"/> 経常 <input type="checkbox"/> なし
-------	------	------	------	------	------	-------	--

1. 事業の概要 (PLAN)											
(1) 事業概要	①事業名	基本事業 救急・救助体制の強化	実施計画への位置づけ		○有 ●無		②部課名	消防本部・警防課			
	③事業主体	個別事業 救急隊員への新型インフルエンザ感染防止対策	④対象地区		○我孫子 ○天王台 ○湖北 ○新木 ○布佐		■全市				
	⑤事業期間	～	⑥担当職員数		4人 (換算人数)		0.2人				
	⑦事業費 (人件費含む)	総事業費 0千円	当該(開始)年度		当 初	12,235千円 (うち人件費 1,780千円)					
	⑧施策の位置づけ	施策コード 70202	重点プロジェクトへの位置づけ	重点3		基本計画地区別計画への位置づけ		○有 ●無			
(2) 目的	施策目的・展開方向	救急救助体制を強化・充実するため、人員の養成や装備の増強などに努めるとともに、広域での連携強化を図ります。また、市民自身の救命率を高めるため、応急手当や救命講習などの講習会を充実させていきます。さらに、緊急性のない救急出動については民間の活用を促すとともに、適切な救急要請を行うようPRに努めます。			事業目的		新型インフルエンザ感染防止による隊員の安全と、市民の生命、身体、財産を災害から守り、福祉の増進を助け、安心して安らかに暮らせる生活を確保する。また、対応する職員や医療従事者等を二次感染から保護する。				
(3) 事業内容	内 容	新型インフルエンザ発生時において、消防関係者が感染のおそれがあり、また、重症化を防止するため、新型インフルエンザ感染防止装備（インフルエンザ対策キット）を5ヶ年計画にて合計6,600セットの整備を実施。今後、計画的に更新する。また、感染対策として関係する隊員に新種インフルエンザ等が発生した場合は関係機関と調整を図りワクチン予防接種を実施します。（1人1日39セット使用し1隊3人で117セット使用・1日117セット使用で8週間（56日間）6,552セット使用）			当該年度執行計画		年間を通して、必要な装備・資器材等を確保できるよう装備資器材について把握し、新型インフルエンザ発生時における感染防止対策の検討を図る。関係する隊員に対し新種インフルエンザ等が発生した場合は、関係機関と調整しワクチン予防接種を実施、隊員の感染における重症化の防止及び救急傷病者への二次感染の防止を図ります。				
		当該年度活動結果指標		新型インフルエンザ感染防止装備蓄数（インフルエンザ対策キット）6,600セット		単位	セット	想定値	6,600		
(4) 達成目標(期待する成果)	達成目標(期待する成果)			指標種類		指 標		単位	(5) 現況値	(6) 目標値	
当該年度	新型インフルエンザ発生時に感染した隊員の重症化の防止及び救急傷病者への二次感染の防止を図る。			間接		新型インフルエンザ感染防止装備蓄数(6,552セット)÷40人分(全救急隊員数)=1人約164セット		セット	164	164	
令和4年度	新型インフルエンザ発生時に感染した隊員の重症化の防止及び救急傷病者への二次感染の防止を図る。			間接		新型インフルエンザ感染防止装備蓄数(6,552セット)÷40人分(全救急隊員数)=1人約164セット		セット		164	
令和5年度	新型インフルエンザ発生時に感染した隊員の重症化の防止及び救急傷病者への二次感染の防止を図る。			間接		新型インフルエンザ感染防止装備蓄数(6,552セット)÷40人分(全救急隊員数)=1人約164セット		セット		164	
(7) 事業実施上の課題と対応	現在の新型インフルエンザウイルスが変異する事により、対応する隊員の感染対策は必要不可欠であるため、感染防止対策における資器材の確保及びワクチンの接種の実施は必要となります。また、今後新型ウイルスの変異により新たな対策が想定されることから、継続的に対策をとることが必要とされます。			代替案検討		○有 ●無					
(8) 施行事項	実施内容 費 用	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度			
		政策	内 容	金額(千円)	政策	内 容	予算額(千円)	決算額(千円)	政策	内 容	金額(千円)
		需用費 当初(180)予備費増額(3,069)		3,249	* 需用費 当初(180) 補正増額(440) 繰越増額(14,130) 予備費増額(62) 予備費増額(271) 予備費増額(12,330) 補正増額(271) 補正増額(271) 備品購入費 当初(0)補正増額(9,835)		27,955	26,298	需用費		180
		国庫支出金 補助率 0%		0	補助率 0%		37,610	35,738	補助率 0%		0
		県支出金 補助率 0%		0	補助率 100%		0	7,035	補助率 0%		0
(9) 財源内訳	起債	充当率 0%		充当率 0%		0	0	充当率 0%		0	
	一般財源		3,249		180	△6,855		180		180	
	その他の財源	<input type="checkbox"/> 特会 <input type="checkbox"/> 受益 <input type="checkbox"/> 基金 <input type="checkbox"/> その他	0	<input type="checkbox"/> 特会 <input type="checkbox"/> 受益 <input type="checkbox"/> 基金 <input type="checkbox"/> その他	0	0	0	<input type="checkbox"/> 特会 <input type="checkbox"/> 受益 <input type="checkbox"/> 基金 <input type="checkbox"/> その他	0	0	
(10) 人件費等	換算人数(人)		0.23		0.2	0.2		0.2		0.2	
	正職員人件費		2,001		1,780	1,780		1,780		1,780	
	嘱託職員報酬額		0		0	0		0		0	
	臨時職員賃金額		0		0	0		0		0	
	事業費(予算(決算)額+正職員人件費)		5,250		39,570	37,698		1,960		1,960	
(11) 単位費用 (事業費/活動結果指標)	0.8千円/セット		6千円/セット		5.71						

2. 事業の評価 (DO-CHECK)										
評価項目		事前評価				事後評価(評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む))				改善検討
(1) 事業が今必要である理由・背景は？(事業の必要性)	新型インフルエンザとは、従来人から人への感染が認められていなかったインフルエンザウイルスが、遺伝子変異により、人から人へと容易かつ継続的に感染する。鳥類等の中でまん延するインフルエンザウイルス(新種インフルエンザウイルス)の一種が人への感染力を獲得していたことが認められたもので、新型インフルエンザ化することが危惧されている。新型インフルエンザが発生した場合、我孫子市内においても罹患患者数約34,000人、受診患者数約26,000人、死者が680人発生すると想定されるため喫緊の課題である。				●①事前確認での想定どおり ○②事前確認での想定どおりでなかった <想定どおりとした理由/想定どおりでなかった原因> 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用し、感染症対策用資器材の整備を年度内に実施出来た。				○要 ●不要	
	(2) 市が実施する必要性はあるか？(市実施の必要性)	●①民間企業、NPO、市民団体等では実施できない(理由) <input type="checkbox"/> 法令等で市が実施することが定められている <input checked="" type="checkbox"/> 提供主体が市しかない <input type="checkbox"/> その他		<その他の内容>		■①民間企業、NPO、市民団体等では実施できなかった <input type="checkbox"/> 市が主導で進めなければ実効性がなかった <input type="checkbox"/> 市が先導役となったことで市民へ普及が一層促進された <input type="checkbox"/> 市の支援が政策・施策の目標の実現に貢献した <input type="checkbox"/> サービスの水準が確保された <input type="checkbox"/> サービスの安定供給が確保された <input type="checkbox"/> その他		<市実施の具体的な内容・必要性の理由> 消防隊員(救急救助隊員を含む)の新型インフルエンザ等に対する感染防止対策は、市が主体となり実施する必要がある。		○要 ●不要
参加・協働の工夫	参加・協働の内容		工夫の具体的な内容		実施した参加・協働の具体的な内容(又は今後、参加・協働が考えられる場合にはその内容)		参加・協働の程度・内容		○要 ●不要	
	市民の参加や市民との協働を工夫しているか？(体制づくり)		○①事業計画時に市民の参画有り ○②事業実施時に市民の参画有り ○③管理・運営に市民の参画有り ○④市民の自主的な活動と連携している ○⑤市民と共同で事業を実施 ●⑥その他 <その他の内容> 該当なし		該当なし		○①当初期待した以上 ●②当初期待したとおり ○③当初の期待以下 <期待した以上となった理由/期待以下であった原因>		○要 ●不要	
環境への配慮	配慮の視点		取組む内容		実施した具体的な内容		環境への配慮		○要 ●不要	
	環境に配慮して事業を進めているか？		□①自然環境を生かしている □②生き物と共存している □③手賀沼を意識している □④環境負荷低減に貢献している ■⑤その他 <その他の内容> 該当なし		該当なし		●①想定どおり ○②想定どおりでなかった <想定どおりでなかった原因>		○要 ●不要	
(1) 目標設定は適切か？	現況値(a)(セット)	目標値(b)(セット)	目標値の妥当性のチェック		達成状況		●①目標値達成 ○②目標値未達成		○要 ●不要	
	164	164	■①客観的なデータ・事実に基づき設定している □②現況値と比べ実現性が乏しい値ではない □③現況値との差が小さい値ではない □④適当な比較対象がある場合、比較対象例における目標値(と現況値の差)と同等の水準である		実績値(f)(セット)	達成率(%) (f/b×100)	<目標を達成した理由/未達成となった原因> 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用し、感染症対策用資器材の整備を年度内に実施出来た。			
	対策実施による事業費削減		実施予定の対策		実施状況		○①想定事業費未済 ●②概ね想定事業費以内 ○③想定事業費超過		○要 ●不要	
(2) 事業費削減の工夫をしているか？	事業費(c)(千円)	事業費削減額(d)(千円)	□①国・県助成制度活用 □②現有体制での対応 □③維持管理費の削減策の実施 □④民間委託		□⑤PFI等民間資本の活用 □⑥受益者負担 □⑦その他		実績値(g)(千円) 対事業費(%) (g/c)×100		○要 ●不要	
	39,570	△34,320	<削減の内容>		37,698 95.27		<超過理由等>		<想定どおり削減できなかった原因>	
(3) 目標値を実現するために投じる事業費は適正か？(目標対費用)	目標値対事業費(e)		計算方法		達成状況		○①目標値以上 ●②目標値と同程度 ○③目標値以下		○要 ●不要	
	0.41	10万円	●①単年度の指標：目標値×費用単位/事業費 ○②複数年度の指標：(目標値-現況値)×費用単位/事業費		実績値(h)	対目標値(%) (h/e)×100	<目標値以上となった理由/目標値以下であった原因> 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用し、感染症対策用資器材の整備を年度内に実施出来た。			

3. 事後評価										
○現状どおり推進 ○拡充 ○縮小 ●結合 ○休止 ○廃止 ○事業手法見直し ○その他(事業完了など)										
評価	事務事業の見直しによる結合。令和4年度からは結合後の事務事業の中で一体的に推進していく。				改善策及び展開方向					
					令和4年度からは結合後の事務事業の中で一体的に推進していく。					

事務事業評価表（令和3年度）

Header table with columns: 事業コード (1672), 課コード (1003), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

Main table for '1. 事業の概要 (PLAN)'. Includes sections for (1) 事業概要, (2) 目的, (3) 事業内容, (4) 達成目標, (7) 事業実施上の課題と対応, and (8) 施行事項 with detailed budget breakdown for 令和2, 3, 4, 5年度.

2. 事業の評価 (DO+CHECK)

Evaluation table with columns: 評価項目, 事前評価, 事後評価 (評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む)), 改善検討. Includes criteria for necessity, participation, environment, and efficiency.

3. 事後評価

Summary table for post-evaluation with columns: 現状どおり推進, 拡充, 縮小, 結合, 休止, 廃止, 事業手法見直し, その他(事業完了など), 評価コメント, 改善策及び展開方向.

事務事業評価表（令和3年度）

Header table with columns: 事業コード (1674), 課コード (1003), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

1. 事業の概要 (PLAN) - Main project details including purpose, content, budget, and performance indicators.

2. 事業の評価 (DO+CHECK)

Evaluation table with columns for evaluation items, pre-evaluation, post-evaluation, and improvement checks.

3. 事後評価

Post-evaluation table with columns for current status and improvement directions.

事務事業評価表（令和3年度）

Header table with columns: 事業コード (1675), 課コード (1003), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

1. 事業の概要 (PLAN) - Overview of the project including purpose, content, and financial details.

2. 事業の評価 (DO+CHECK) - Evaluation section header

Main evaluation table with columns: 評価項目, 事前評価, 事後評価 (評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む)), 改善検討

3. 事後評価 - Post-evaluation section header

Post-evaluation table with columns: 現状どおり推進, 拡充, 縮小, 結合, 休止, 廃止, 事業手法見直し, その他(事業完了など)

事務事業評価表（令和3年度）

Header table with columns: 事業コード (1772), 課コード (1003), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

Main table for '1. 事業の概要 (PLAN)'. Includes sections for (1) 事業概要, (2) 目的, (3) 事業内容, (4) 達成目標, (7) 事業実施上の課題と対応, and (8) 施行事項 with a detailed budget table for 令和2-5年度.

2. 事業の評価 (DO+CHECK)

Evaluation table with columns: 評価項目, 事前評価, 事後評価 (評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む)), 改善検討. Includes criteria for necessity, participation, environment, and efficiency.

3. 事後評価

Summary table for post-evaluation with columns: 現状, 評価コメント, 改善策及び展開方向.

事務事業評価表（令和3年度）

事業コード	2117	課コード	1003	会計種別	一般会計	予算の種類	<input type="checkbox"/> 政策 <input checked="" type="checkbox"/> 経常 <input type="checkbox"/> なし
-------	------	------	------	------	------	-------	--

1. 事業の概要 (PLAN)										
(1) 事業概要	①事業名	基本事業 消防団体制の強化・充実	実施計画への位置づけ	○有 ●無		②部課名	消防本部・警防課			
	③事業主体	個別事業 消防団の装備の充実	④対象地区	○我孫子 ○天王台 ○湖北 ○新木 ○布佐 ■全市						
	⑤事業期間	●市 ○その他 ()	⑥担当職員数	4人 (換算人数)		0.16人				
	⑦事業費 (人件費含む)	総事業費 0千円	当該(開始)年度	当初	4,036千円 (うち人件費 1,424千円)					
	⑧施策の位置づけ	施策コード 70203	重点プロジェクトへの位置づけ	重点なし	基本計画地区別計画への位置づけ	○有 ●無		部門別計画への位置づけ	(計画名)	
(2) 目的	施策目的・展開方向	消防団員の確保に取り組みとともに、市民の防火・防災意識を一層高めるため、消防団や女性防火クラブなどの関係機関と連携しながら、各種防火・防災訓練や住宅用火災警報器の設置促進などに努め、地域防災力の強化を図ります。			事業目的	平成25年12月に「消防団を中核とした地域防災力の充実強化に関する法律」が成立し、地方公共団体は必要な措置を講じることが義務付けられた。これを踏まえ、この法律の趣旨に基づく施策の着実な展開を図り消防団装備の充実強化を図る。				
(3) 事業内容	内容	消防団充実強化法が成立し消防団装備の基準が抜本的に見直されたことにより、消防団の加入促進、処遇改善事業と合わせ、国・県において講じられている財源を積極的に活用して消防団装備の充実強化を行う。なお、装備の基準において整備することが求められている装備のうち、特に必要と認められる未整備の装備から実施し、整備済み物品においても貸与規則等に基づく老朽更新を図る。			当該年度執行計画	<ul style="list-style-type: none"> ・IP無線機の利用(通年) ・消防団用保安帽の整備 				
(4) 達成目標(期待する成果)	達成目標(期待する成果)			指標種類	指標		単位	個	想定値	240
当該年度	各装備の効率的な配置を行い、効果的な運用を行うために各装備品の仕様の精査を行う。また、活用できる財源の確保に努める。			直接	備率		%		実績値	240
令和4年度	装備の基準に基づき、計画的な新規整備及び老朽更新を実施する。			直接	備率		%		(5)現況値	70
令和5年度	装備の基準に基づき、計画的な新規整備及び老朽更新を実施する。			直接	備率		%		(6)目標値	90
(7) 事業実施上の課題と対応	消防団の装備において、すべての装備品を整えるのは期間及び費用を要するが、装備品の優先順位付けを行い、継続的な整備を進めていく。			代替案検討	○有 ●無					
(8) 施行事項	実施内容 費用	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		
		政策	内容	金額(千円)	政策	内容	金額(千円)	政策	内容	金額(千円)
		消防団用耐切削性手袋 4,980×120×1.10 消防団用耐切削防止用保護衣 13,000×21×1.10 雨衣 77 補助金 1,314,720(事業費)×1/6(補助率) =219,000(耐切削性手袋分) 300,300(事業費)×1/6(補助率) =219,000 IP無線機自治体BCPプラン (月額利用料83台分)	1,315	消防団用保安帽(240個) 5,800×240×1.10 補助金 1,531,200(事業費)×1/6(補助率) =255,200 IP無線機自治体BCPプラン (月額利用料83台分) IP無線機更新整備(60台)12月補正 25,500×60×1.10 補助金 12月補正 1,683,000(事業費)×1/6(補助率) =280,000 装備消耗品	1,532	1,254	消防団資器材整備 消防防災施設強化事業補助金 IP無線機自治体BCPプラン (月額利用料83台分)	1,080	消防団資器材整備 消防防災施設強化事業補助金 IP無線機自治体BCPプラン (月額利用料83台分)	1,080
		合計	2,772	合計	4,295	合計	1,080	合計	1,080	
		国庫支出金 補助率 0%	0	国庫支出金 補助率 0%	0	国庫支出金 補助率 0%	0	国庫支出金 補助率 0%	0	
県支出金 補助率 16.6%	269	県支出金 補助率 16.6%	535	県支出金 補助率 16.6%	243	県支出金 補助率 16.6%	243			
起債 充当率 0%	0	起債 充当率 0%	0	起債 充当率 0%	0	起債 充当率 0%	0			
一般財源	2,503	一般財源	3,760	一般財源	837	一般財源	1,080			
その他の財源 <input type="checkbox"/> 特会 <input type="checkbox"/> 受益 <input type="checkbox"/> 基金 <input type="checkbox"/> その他	0	その他の財源 <input type="checkbox"/> 特会 <input type="checkbox"/> 受益 <input type="checkbox"/> 基金 <input type="checkbox"/> その他	0	その他の財源 <input type="checkbox"/> 特会 <input type="checkbox"/> 受益 <input type="checkbox"/> 基金 <input type="checkbox"/> その他	0	その他の財源 <input type="checkbox"/> 特会 <input type="checkbox"/> 受益 <input type="checkbox"/> 基金 <input type="checkbox"/> その他	0			
換算人数(人)	0.4	換算人数(人)	0.16	換算人数(人)	0.16	換算人数(人)	0.16			
正職員人件費	3,480	正職員人件費	1,424	正職員人件費	1,424	正職員人件費	1,424			
嘱託職員報酬額	0	嘱託職員報酬額	0	嘱託職員報酬額	0	嘱託職員報酬額	0			
臨時職員賃金額	0	臨時職員賃金額	0	臨時職員賃金額	0	臨時職員賃金額	0			
事業費(予算(決算)額+正職員人件費)	6,252	事業費(予算(決算)額+正職員人件費)	5,719	事業費(予算(決算)額+正職員人件費)	5,619	事業費(予算(決算)額+正職員人件費)	2,504			
(11) 単位費用 (事業費/活動結果指標)	6,252千円/件	(11) 単位費用 (事業費/活動結果指標)	23.83千円/個	(11) 単位費用 (事業費/活動結果指標)	23.41	(11) 単位費用 (事業費/活動結果指標)				

2. 事業の評価 (DO+CHECK)									
(1) 事業が今必要である理由・背景は？(事業の必要性)	事前評価			事後評価(評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む))				改善検討	
	東日本大震災により多数の消防団員が死傷したことから、消防団充実強化法が制定され、消防団の装備の基準が改定されたことを受け、消防団の充実強化のため地方公共団体は必要な措置を講ずることが義務付けられたため。なお、基準により整備が求められている物品を優先的に新規整備及び老朽更新していく。			<ul style="list-style-type: none"> ●①事前確認での想定どおり ○②事前確認での想定どおりでなかった 				○要 ●不要	
(2) 市が実施する必要性はあるか？(市実施の必要性)	●①民間企業、NPO、市民団体等では実施できない(理由) ■法令等で市が実施することが定められている <input type="checkbox"/> 提供主体が市しかない <input type="checkbox"/> その他			<ul style="list-style-type: none"> ■①民間企業、NPO、市民団体等では実施できなかった ○②市が主導で進めなければ実効性がなかった ○③市が先導役となったことで市民へ普及が一層促進された ○④市の支援が政策・施策の目標の実現に貢献した ○⑤サービス水準が確保された ○⑥サービスの安定供給が確保された ○⑦その他 				○要 ●不要	
	○②自治体である市が推進すべきである(理由) <input type="checkbox"/> 市が主導で進めることにより実効性が得られる <input type="checkbox"/> 市が実施・提供することにより、良質で安定したサービスが保証される <input type="checkbox"/> 市が支援することにより政策・施策の目標の実現が図られる <input type="checkbox"/> その他								
市民の参加や市民との協働を工夫しているか？(体制づくり)	参加・協働の内容			工夫の具体的な内容				実施した参加・協働の具体的な内容(又は今後、参加・協働が考えられる場合にはその内容)	
	<ul style="list-style-type: none"> ○①事業計画時に市民の参画有り ○②事業実施時に市民の参画有り ○③管理・運営に市民の参画有り ○④市民の自主的な活動と連携している ○⑤市民と共同で事業を実施 ●⑥その他 							<ul style="list-style-type: none"> ○①当初期待した以上 ●②当初期待したとおり ○③当初の期待以下 	
環境に配慮して事業を進めているか？	配慮の視点			取組む内容				実施した具体的な内容	
	<ul style="list-style-type: none"> □①自然環境を生かしている □②生き物と共存している □③手賀沼を意識している □④環境負荷低減に貢献している ■⑤その他 							<ul style="list-style-type: none"> ●①想定どおり ○②想定どおりでなかった 	
(1) 目標設定は適切か？	現況値(a)(%)	目標値(b)(%)	目標値の妥当性のチェック		達成状況		●①目標値達成 ○②目標値未達成		
	70	80	<ul style="list-style-type: none"> ■①客観的なデータ・事実に基づき設定している □②現況値と比べ実現性が乏しい値ではない □③現況値との差が小さい値ではない □④適当な比較対象がある場合、比較対象例における目標値(と現況値の差)と同等の水準である 		<ul style="list-style-type: none"> 実績値(f)(%) 達成率(%) (f/b×100) 		<ul style="list-style-type: none"> <目標を達成した理由/未達成となった原因> 計画どおりの配備を図れたため。 		
(2) 事業費削減の工夫をしているか？	対策実施による事業費削減		実施予定の対策		実施状況		○①想定事業費未済 ●②概ね想定事業費以内 ○③想定事業費超過		
	事業費(c)(千円)	事業費削減額(d)(千円)	<ul style="list-style-type: none"> □①国・県助成制度活用 □②現有体制での対応 □③維持管理費の削減策の実施 □④民間委託 □⑤PFI等民間資本の活用 □⑥受益者負担 □⑦その他 		<ul style="list-style-type: none"> 実績値(g)(千円) 対事業費(%) (g/c)×100 		<ul style="list-style-type: none"> ●①事前の想定どおり ○②事前の想定どおりでなかった 		
(3) 目標値を実現するために投じる事業費は適正か？(目標対費用)	目標値対事業費(e)		計算方法		達成状況		●①目標値以上 ○②目標値と同程度 ○③目標値以下		
	1.4		<ul style="list-style-type: none"> ●①単年度の指標：目標値×費用単位/事業費 ○②複数年度の指標：(目標値-現況値)×費用単位/事業費 		<ul style="list-style-type: none"> 実績値(h) 対目標値(%) (h/e)×100 		<ul style="list-style-type: none"> <目標値以上となった理由/目標値以下であった原因> 計画どおりの配備を図れたため。 		

3. 事後評価										
○現状どおり推進 ○拡充 ○縮小 ●結合 ○休止 ○廃止 ○事業手法見直し ○その他(事業完了など)										
評価	事務事業の見直しによる結合。令和4年度からは結合後の事務事業の中で一体的に推進していく。					改善策及び展開方向				
	令和4年度からは結合後の事務事業の中で一体的に推進していく。									

事務事業評価表（令和3年度）

Header table with columns: 事業コード (2173), 課コード (1003), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

Main table for '1. 事業の概要 (PLAN)'. Includes sections for (1) 事業概要, (2) 目的, (3) 事業内容, (4) 達成目標, (7) 事業実施上の課題と対応, and (8) 施行事項 with detailed financial data for fiscal years 2020-2024.

2. 事業の評価 (DO+CHECK)

Evaluation table with columns: 評価項目, 事前評価, 事後評価 (評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む)), 改善検討. Includes criteria for necessity, citizen participation, environmental consideration, and efficiency.

3. 事後評価

Post-evaluation table with columns: 現状どおり推進, 拡充, 縮小, 結合, 休止, 廃止, 事業手法見直し, その他(事業完了など). Includes a '評価コメント' section.

事務事業評価表（令和3年度）

事業コード	2237	課コード	1003	会計種別	一般会計	予算の種類	政策	経常	なし
-------	------	------	------	------	------	-------	----	----	----

1. 事業の概要 (PLAN)											
(1) 事業概要	①事業名	基本事業 消防体制の強化・充実	個別事業 千葉北西部10市消防通信指令業務の共同運用	実施計画への位置づけ	●有 ○無		②部課名	消防本部・警防課			
	③事業主体	○市 ●その他（千葉県・県内10市消防本部（北西部））		④対象地区	○我孫子 ○天王台 ○湖北 ○新木 ○布佐 ●全市						
	⑤事業期間	令和3年度～		⑥担当職員数	9人（換算人数）		0.45人				
	⑦事業費（人件費含む）	総事業費	0千円	当該（開始）年度	（当初）	83,542千円（うち人件費 4,005千円）					
				（変更後）	82,778千円（うち人件費 4,005千円）						
(2) 目的	施策目的・展開方向	火災や水害などの災害から市民の生命と財産を守るため、消防施設・装備を充実し、近隣自治体や関係団体と連携を図りながら消防体制の強化を図ります。			事業目的	災害の態様は複雑で大規模化している。又、災害現場での消防活動も多様化しており、災害に対しより迅速かつ確実に対応できる広域的な災害活動を可能とするため、千葉北西部10市により消防緊急通信指令センターを共同整備し、共同運用する。					
(3) 事業内容	内容	近年複雑多様化する消防需要に広域的に対応し、消防サービスの高度化及び消防力の強化を図るため、消防指令に関する事務を千葉北西部10市共同して管理し、及び執行することを目的として、ちば北西部消防指令センター開設、令和3年2月から運用開始しています。指令システムについては、共同整備部分として、指令センターの運営に係る費用を松戸市ほか9市消防指令事務協議会負担とし、我孫子市の個別整備部分は消防指令管制システム（我孫子市個別整備部分）負担と主としております。			当該年度執行計画	人口規模240万人に対応可能な消防指令システムを構築し、令和3年2月から運用開始し継続的に事業を進めております。					
(4) 達成目標（期待する成果）	達成目標（期待する成果）			指標種類	指標	単位	%	想定値	100		
当該年度	令和3年2月に運用開始された「ちば北西部消防指令センター」の効率的な共同運用			直接	10市の共同指令センター運用に係る適正な稼働率	%		実績値	100		
令和4年度	構成10市での効率的な通信指令業務の運用状況			直接	共同指令センター運用に係る適正な稼働率	%			100		
令和5年度	構成10市での効率的な通信指令業務の運用状況			直接	共同指令センター運用に係る適正な稼働率	%			100		
(7) 事業実施上の課題と対応	共同運用構成10市の現在行っている消防通信指令業務範囲及び財政状況が異なるため、調整に時間を要する。			代替案検討	○有 ●無						
(8) 施行事項	実施内容 費用	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度			
		内容	金額(千円)	内容	予算額(千円)	決算額(千円)	内容	金額(千円)	内容	金額(千円)	
		* 共同指令センター整備に向けた協議・検討		* 10市消防通信指令業務負担金	16,155	16,155	* 10市消防通信指令業務負担金	18,190	* 10市消防通信指令業務負担金	21,800	
		* 債務負担行為設定（2021～2030年度）		* 債務負担行為設定（2021～2030年度）	56,246	56,246	* 債務負担行為設定（2021～2030年度）	56,246	* 債務負担行為設定（2021～2030年度）	56,246	
		* 消防指令管制システム（個別）賃貸借	9,667	* 消防指令管制システム（個別）賃貸借	25	12	* 消防指令管制システム（個別）賃貸借	25	* 消防指令管制システム（個別）賃貸借	25	
予算（決算）額	合計	28,635	合計	78,773	78,146	合計	80,592	合計	84,406		
(9) 財源内訳	国庫支出金	補助率	0%	0	0	補助率	0%	0	補助率	0%	
	県支出金	補助率	0%	0	0	補助率	0%	0	補助率	0%	
	起債	充当率	0%	0	0	充当率	0%	0	充当率	0%	
	一般財源		28,635	78,773	78,146		80,592			84,406	
	その他の財源	□特会 □受益 □基金 □その他	0	0	0	□特会 □受益 □基金 □その他	0	□特会 □受益 □基金 □その他	0	□特会 □受益 □基金 □その他	0
(10) 人件費等	換算人数(人)		0.54	0.45	0.45		0.45			0.45	
	正職員人件費		4,698	4,005	4,005		4,005			4,005	
	嘱託職員報酬額		0	0	0		0			0	
	臨時職員賃金額		0	0	0		0			0	
	事業費（予算（決算）額+正職員人件費）		33,333	82,778	82,151		84,597			88,411	
(11) 単位費用（事業費/活動結果指標）			333.33千円/％	827.78千円/％	821.51						

2. 事業の評価 (DO+CHECK)									
(1) 事業が今必要である理由・背景は？（事業の必要性）	事前評価			事後評価（評価結果に応じ、改善案検討（拡充も含む））					改善検討
	災害対応は複雑で大規模化している。又、災害現場での消防活動も多様化しており、近隣市町に対し迅速かつ確実な広域応援を要請しなければならない等、既存の消防本部では十分対応が出来にくい状況が現実なものとなってきている。指令センターを共同運用することで、消防本部の管轄を超えた広域的な運用が可能となり、大規模災害等に対し、迅速かつ確実な対応が図れる。			●①事前確認での想定どおり ○②事前確認での想定どおりでなかった <想定どおりとした理由/想定どおりでなかった原因> 松戸市ほか9市消防指令事務協議会において、構成市の指令センター共同運用に関する状況の把握及び通信技術に関する情報の収集と調整が図れた。					○要 ●不要
(2) 市が実施する必要性はあるか？（市実施の必要性）	●①民間企業、NPO、市民団体等では実施できない（理由） ■法令等で市が実施することが定められている □提供主体が市しかない □その他			■①民間企業、NPO、市民団体等では実施できなかった □②市が主導で進めなければ実効性がなかった □③市が先導役となったことで市民へ普及が一層促進された □④市の支援が政策・施策の目標の実現に貢献した □⑤サービス水準が確保された □⑥サービスの安定供給基盤が確保された □⑦その他 <その他の内容>					○要 ●不要
	○②自治体である市が推進すべきである（理由） □市が主導で進めることにより実効性が得られる □市が実施・提供することにより、良質で安定したサービスが保証される □市が支援することにより政策・施策の目標の実現が図られる □その他								
参加・協働の工夫	参加・協働の内容			工夫の具体的な内容		実施した参加・協働の具体的な内容（又は今後、参加・協働が考えられる場合にはその内容）			参加・協働の程度・内容
	○①事業計画時に市民の参画有り ○②事業実施時に市民の参画有り ○③管理・運営に市民の参画有り ○④市民の自主的な活動と連携している ○⑤市民と共同で事業を実施 ●⑥その他 <その他の内容> 該当なし					該当なし			○①当初期待した以上 ●②当初期待したとおり ○③当初の期待以下 <期待した以上となった理由/期待以下であった原因>
環境への配慮	配慮の視点			取組む内容		実施した具体的な内容			環境への配慮
	□①自然環境を生かしている □②生き物と共存している □③手賀沼を意識している □④環境負荷低減に貢献している ■⑤その他 <その他の内容> 該当なし					該当なし			●①想定どおり ○②想定どおりでなかった <想定どおりでなかった原因>
(1) 目標設定は適切か？	現況値(a)(%)	目標値(b)(%)	目標値の妥当性のチェック		達成状況		●①目標値達成 ○②目標値未達成		
	100	100	■①客観的なデータ・事実に基づき設定している □②現況値と比べ実現性が乏しい値ではない □③現況値との差が小さい値ではない □④適当な比較対象がある場合、比較対象例における目標値（と現況値の差）と同等の水準である		実績値(f)(%)	達成率(%) (f/b)×100	<目標を達成した理由/未達成となった原因> ちば北西部消防指令センターが運用開始となり、不備なく稼働している。		
					100	100			
(2) 事業費削減の工夫をしているか？	対策実施による事業費削減		実施予定の対策			実施状況		○①想定事業費未済 ●②概ね想定事業費以内 ○③想定事業費超過	
	事業費(c)(千円)	事業費削減額(d)(千円)	□①国・県助成制度活用 ■②現有体制での対応 □③維持管理費の削減策の実施 □④民間委託	□⑤PFI等民間資本の活用 □⑥受益者負担 □⑦その他	実績値(g)(千円)	対事業費(%) (g/c)×100	事業費の削減対策について ●①事前の想定どおり ○②事前の想定どおりでなかった <想定どおり削減できなかった原因>		
	82,778	△49,445	<削減の内容>		82,151	99.24			
(3) 目標値を実現するために投じる事業費は適正か？（目標対費用）	目標値対事業費(e)		計算方法			達成状況		○①目標値以上 ●②目標値と同程度 ○③目標値以下	
	0.12		●①単年度の指標：目標値×費用単位/事業費 ○②複数年度の指標：(目標値-現況値)×費用単位/事業費	実績値(h)		対目標値(%) (h/e)×100	<目標値以上となった理由/目標値以下であった原因>		
				0.12	100				

3. 事後評価										
○現状どおり推進 ○拡充 ○縮小 ●結合 ○休止 ○廃止 ○事業手法見直し ○その他(事業完了など)										
評価	事務事業の見直しによる結合。令和4年度からは結合後の事務事業の中で一体的に推進していく。					改善策及び展開方向				
						令和4年度からは結合後の事務事業の中で一体的に推進していく。				

事務事業評価表（令和3年度）

Header table with columns: 事業コード (2238), 課コード (1003), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

1. 事業の概要 (PLAN) - Main planning section including ①事業名, ②目的, ③事業内容, ④達成目標, ⑤事業実施上の課題と対応, ⑥施行事項, ⑦財源内訳, ⑧人件費, ⑨事業費(予算(決算)額+正職員人件費), ⑩(11)単位費用

2. 事業の評価 (DO+CHECK)

Evaluation section with columns: 評価項目, 事前評価, 事後評価 (評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む)), 改善検討. Includes sub-sections for 必要性, 参加・協働の工夫, 環境への配慮, 目標設定, 効率性.

3. 事後評価

Post-evaluation section with columns: 現状どおり推進, 拡充, 縮小, 結合, 休止, 廃止, 事業手法見直し, その他(事業完了など). Includes 評価コメント and 改善策及び展開方向.

事務事業評価表（令和3年度）

Header table with columns: 事業コード (2239), 課コード (1003), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

Main table for '1. 事業の概要 (PLAN)'. Includes sections for (1) 事業概要, (2) 目的, (3) 事業内容, (4) 達成目標, (7) 事業実施上の課題と対応, and (8) 施行事項 with detailed budget breakdown.

2. 事業の評価 (DO+CHECK)

Evaluation table with columns: 評価項目, 事前評価, 事後評価 (評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む)), 改善検討. Includes criteria for necessity, participation, environment, and target setting.

3. 事後評価

Post-evaluation table with columns: 現状どおり推進, 評価コメント, 改善案及び展開方向.